

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 1 区分
 【発行日】平成23年8月4日 (2011.8.4)

【公表番号】特表2010-531219(P2010-531219A)
 【公表日】平成22年9月24日 (2010.9.24)
 【年通号数】公開・登録公報2010-038
 【出願番号】特願2010-513623(P2010-513623)
 【国際特許分類】

B 0 1 J 29/80 (2006.01)

B 0 1 J 35/10 (2006.01)

C 1 0 G 11/05 (2006.01)

【F I】

B 0 1 J 29/80 M

B 0 1 J 35/10 3 0 1 A

C 1 0 G 11/05

【手続補正書】

【提出日】平成23年6月14日 (2011.6.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

供給原料として石油炭化水素を用いた、接触分解、または、熱分解によって、軽質オレフィンを製造するための触媒は、3つのタイプに分けられる。第一タイプは、酸化物を基質に用いる担持金属触媒であり、例えばUS 3, 541, 179、US 3, 647, 682、DD 225, 135、および、SU 1 214, 726に記載された触媒であり、当該触媒は、IIB、VB、VIIB、およびVIIIB族の金属素子を担持するために、 SiO_2 、 Al_2O_3 、または、他の酸化物を基質として使用する。この種類の触媒は、軽質の供給原料（沸点範囲220 未満）の接触分解によって軽質オレフィンの製造を行うのに適するのみである。第二タイプは、例えばUS 3, 725, 495およびUS 3, 839, 485に記載された触媒や、DD 152, 356に記載された触媒などの複合酸化物触媒である。上記US 3, 725, 495およびUS 3, 839, 485に記載された触媒は、主成分として ZrO_2 および/または HfO_2 を用いるとともに、活性アルミナと、 Cr_2O_3 、 MnO 、および Fe_2O_3 から選択される少なくとも1つの複合材料と、アルカリ金属酸化物またはアルカリ土類金属酸化物から選択される少なくとも1つの複合材料とを含有する。上記DD 152, 356に記載された触媒は、軽質オレフィンを製造するために、炭化水素油を分解する触媒として非晶質 $\text{SiO}_2 \cdot \text{Al}_2\text{O}_3$ を用いる。第三タイプの触媒は、ゼオライトを含有する触媒、特に、MFI構造化ゼオライトを含有する触媒（5員環高シリカゼオライト）である。このタイプの触媒は、単独で、または、接触分解の添加剤として用いることができる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 3】

JP 60 - 22 2 428 には、ZSM - 5ゼオライトと Al_2O_3 とを含有する触媒を用

いて、600～750 にて $C_5 \sim C_{25}$ パラフィンを接触分解することによって $C_2 \sim C_4$ を製造する方法が開示されている。